

Z世代アイデアコンテスト伴走支援業務委託(公募型プロポーザル)
質問に対する回答書

No.	質問	回答
1	仕様書(2)イ(イ)(エ) 「アイデアの背景にある動機や目指す将来像などを言語化」との記載があります。これを「コンテストの前に、書面審査通過者全員に対し2回以上と行う」とあります。また、コンテスト出場者のサポートも求められています。工数の見積りにあたり、何名程度を書面審査で通す予定か、ご教示願えますでしょうか。	書面通過者数については、令和7年度は8名でした。 今年度においても、同程度(8名程度)を想定していますが、応募状況や審査結果に応じて変動する可能性があります。
2	仕様書(4) 静止画撮影の被写体に対する「掲載許諾」については市から行うという理解でよろしいでしょうか。また、(工数の見積りのためお伺いしますが)1回の撮影は最大何時間程度見込んでおけばよろしいでしょうか。	・「掲載許諾」については、受託者側において適切に対応していただくことを想定しています。 ・撮影時間については、企画提案内容及び採択者の取組内容により異なるため、一概には言えませんが現時点での目安は以下のとおりです。 ○申請に先立つ個別相談会(ワークショップ等)2時間程度 ○実地コンテスト 4時間程度 ○アイデア実現状況 各案件あたり3時間程度 なお、現時点での想定であり、詳細は受託者と協議の上決定します。
3	「街の活性化につながる具体的なチャレンジ」について、具体的な領域の例(地域貢献、経済活性化、文化振興、テクノロジー活用など)があれば教えてください。	アイデアの内容について特定の分野指定はありませんが、地域貢献、経済活性化、文化振興、テクノロジー活用等を含め、幅広い提案を想定しています。
4	本業務のKPI(重要業績評価指標)として、市が特に重視する項目(例:採択者のプロジェクト実現率、参加者満足度、地域への経済効果など)があれば提示いただけないでしょうか?	本業務は、官民が一体となって若者のチャレンジを後押しし、世代を超えて繋がっていく気運を醸成して、「日本一若者を応援するまち・北九州市」の実現を目指すものです。特定の数値的KPIは設定していませんが、若者の主体的な挑戦の創出及びアイデアの実現に向けた取組の進展を重視しています。 なお、具体的な提案については、内容に応じて総合的に評価します。
5	応募期間中の問合せや相談受付に対して、専用の電話回線を設置する必要はありますか?また、リアルに対応する窓口の設置(応接スペース等)は必要でしょうか?	専用回線や対面窓口の設置は必須ではありませんが、本プロポーザルの評価項目としており、具体的な実施方法については、若者の特性や行動傾向を踏まえ、申請につながる効果的な相談体制をご提案ください。
6	事前相談・ワークショップの開催頻度や、目標とする参加者数、市からの連携(市職員の同席など)の有無について、想定があれば教えてください。	本プロポーザルの評価項目としておりますので、具体的な実施方法については、多くの若者に自由な発想や提案を応募してもらうための仕組み・工夫などをご提案ください。 なお、昨年度の相談会(ワークショップ含む)の相談件数は63件、実際の申請受付は60件です。 また、市職員の同席は状況により対応します。
7	応募受付用のWEBフォームやメールシステムは、受託者が準備・構築するという認識でよろしいでしょうか?	お見込みのとおりです。
8	実地コンテスト出場者への支援(アイデアの言語化・深度化、マインド確立)を行う専門家は、受託者が手配する認識でよろしいでしょうか?その際の費用は委託料に含んで見積書を作成する認識でよろしいでしょうか?	お見込みのとおりです。
9	審査員候補の選定にあたり、市から推薦リストや過去の実績リストの提供はありますか?また、何名程度の候補提案と協議回数を想定されていますか?	2024年度、2025年度開催時の審査員(4名)については以下の特設サイトに公開しておりますので、ご確認ください。 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/zsedai/idea-contest/index.html その他詳細は、受託者と協議の上決定します。
10	実地コンテストの会場設営・準備は対象外とのことですが、出場者サポートの範囲において、会場レイアウトの指示や備品手配の補助など、受託者が関わる範囲について具体的に教えてください。	会場レイアウトの調整、会場設営に係る備品の手配など、会場設営に関する内容は本業務対象外です。 出場者のサポート(当日のリハーサル、荷物管理、会場での案内(出場者)など)を実施していただきます。
11	「採択者の理解を深めるための対話の機会」は、採択者あたり何回程度、どのくらいの時間を想定していますか?	本プロポーザルの評価項目としておりますので、具体的な実施方法については、採択者の動機や将来像を踏まえ、それぞれの主体性やポテンシャルを引き出せるような伴走支援内容・体制をご提案ください。
12	伴走支援者の要件(経験、専門分野、資格など)について、市が求める具体的な基準はありますか?	本プロポーザルの評価項目としておりますので、具体的な実施方法については、採択者の動機や将来像を踏まえ、それぞれの主体性やポテンシャルを引き出せるような伴走支援内容・体制をご提案ください。

13	<p>伴走支援者の人数や、1人あたり何件程度のプロジェクトを担当する想定でしょうか？また、伴走支援者の報酬は委託料に含まれて受託者が支払うものと理解してよいでしょうか？</p>	<p>本プロポーザルの評価項目としておりますので、具体的な実施方法については、採択者の動機や将来像を踏まえ、それぞれの主体性やポテンシャルを引き出せるような伴走支援内容・体制、確実に事業が実行できる支援内容をご提案ください。 また、伴走支援者の報酬については、お見込みのとおりです。</p>
14	<p>記録用写真撮影について、プロのカメラマンに依頼する想定でしょうか？撮影費用は委託料に含むとの認識でよろしいでしょうか？また、記録用素材として、動画撮影の必要性はありますか？</p>	<p>仕様書に記載しているとおり、市ホームページほか、各種メディアに提供、掲載できるものとしておりますので、その目的に応じた静止画撮影をお願いします。仕様書には「動画撮影」は触れておりませんが、ご提案いただく分については問題ありません。</p>
15	<p>事務局の設置場所は、受託者側が用意する任意の場所との認識でよろしいでしょうか？あるいは市から提供される可能性がありますか？</p>	<p>市から場所の提供をすることは想定しておりません。 本プロポーザルの評価項目としておりますので、具体的な実施方法については、若者のチャレンジを支援し、本プロジェクトを効率的に進めていくための体制をご提案ください。</p>